

令和2年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

山田 朋子 議員

◇子どもたちの学び応援する取り組み

—コロナ禍における子どもたちの学びの保障について—

(1) 新型コロナウイルスの感染拡大によって、児童生徒の学びの保障が困難になるのではないかと懸念しているが、対策について伺いたい。

(教育長答弁)

今般の学校休業による授業の遅れは、行事の精選や夏季休業中の授業実施等により、小中学校、高校におきましても、取り戻している状況です。

また、小中学校ですが、今後、新型コロナウイルスの感染拡大があった場合は、感染リスクの高い学習活動の停止や分散登校の実施など最大限の感染対策を講じ、休業が必要な場合においても学校や地域を限定するなどの工夫により、可能な限り学校の教育活動を継続して学びを保障していくものと考えております。

その際、国の方針に基づき、小学校6年生及び中学校3年生の学習を最優先し、進学を目前に控えた児童生徒が、不利益を被ることがないように指導しております。

(2) 今年度から大学入試センター試験から大学入学共通テストに変わるなど、新しい大学入試制度が実施され非常に心配している生徒がいると思うが、各学校でどのような取組を考えているか伺いたい。

(教育長答弁)

新しい大学入試制度に関しましては、随時、学校を通じて生徒や保護者に情報を提供し、不安を払拭するよう努めています。今後、感染が拡大し臨時休業が生じた場合には、特に受験を控えた3年生を優先して分散登校させるなど、不測の事態が生じても安心して受験に臨める環境を整えておくよう、学校を指導してまいります。